

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

令和6年度第4回 理事会議事録

日時：令和6年5月23日(木)7:00-8:00

場所：福岡サンパレス4F第1会議室

【出席した理事】相澤俊峰、伊藤康夫、今釜史郎、金村徳相*、川口善治、國府田正雄、須田浩太*、高橋寛、竹下克志、永島英樹、中村雅也、播広谷勝三、藤原靖、細金直文、宮腰尚久、山田宏、吉井俊貴、渡辺雅彦

【出席した監事】岩崎幹季*、前田健

*はオンライン出席

【議事の経過の要領及びその結果】

理事長・中村雅也が議長となり、開会を宣して議事に入った。

1. 審議・決議事項

①. 令和6年度第3回および臨時理事会議事録の確認

修正等ある場合は事務局へ一報する。

②. 各委員会担当理事および委員選出

中村理事長より最終案の一覧が示され、理事会終了後に一覧を理事会へ共有し、最終決定することを確認した。

③. 新技術評価検証委員会の再編成について

前期担当理事だった金村理事より、新技術評価検証委員会の業務が過多となっていることから提案された再編成案について、一同検討の結果、方向性を承認した。各委員会に割り当てられた方針で進めることとなるため、今後の業務移管について各担当委員会で検討していき、理事会で報告するよう求めた。

④. JSSR-DB2022 年度年次報告利用申請等について

1) JSSR-DB2022 年度年次報告について、

JSSR-DB2022 年度の利用申請4件があった。

- ・「専門医制度、指導医制度での必要な頸椎前方除圧固定術の件数の検討のため」(相澤 俊峰: 東北大学)
- ・「第44回脳神経外科コンgres総会での発表のため」(遠藤俊毅: 東北医科薬科大学 脳神経外科(JSSR 会員))
- ・「OLIF51 新技術レジストリー終了に伴う JOANR/JSSR-DB 登録項目の改修に関する参考資料のため」
(折田純久: 千葉大学)

- ・「第97回日本整形外科学会 シンポジウムでの発表資料」(大和 雄: 浜松医科大学整形外科)

理事会での決議事項となるが、発表等の利用時期に間に合わないため、担当理事と委員長で検討の上許可した。今回は事後承認となるが、一同検討の結果、承認した。

2) 委員会内データリンク WG の廃止について

システム運用により円滑に行う手段ができつつあるため、ワーキンググループの廃止が提案され、一同検討の結果、承認した。

3) JSSR-DB を用いたレジストリー研究推進チームの設立について

学会内でデータベースを用いたレジストリー研究等の公募を予定しているが、利活用するにあたっては学会として採用基準などを示す必要があるとして、継続審議とすることとなった。JSSR データベースは JOANR とリンクするため、JOA との連携が必要であることも確認した。

⑤. SIM査読システムの導入について

関連7学会が査読システム導入した場合のフロー・メリット・価格について説明があった。西日本脊椎研究会がJSRからの脱退を検討しているとの発言があった。各団体の事情を確認して再度理事会に諮ることになった。

⑥. COI自己申告書の提出者範囲について

COI自己申告書の提出を依頼する対象者について一同検討の結果、原案通り承認した。

⑦. ACR レジストリー等について

1) ACR レジストリーと OLIF51 レジストリーについて

レジストリー登録を行ってきたが2024年4月以降の症例登録はJSSR データベースへ移行したいと説明があった。一同検討の結果、承認した。

2) BKP 適正使用指針と LIF 適正使用指針について

BKP 適正使用指針と LIF 適正使用指針改訂版第2版を作成した。十分な確認が必要なため、後日E理事会で検討することとした。

⑧. 会員審査（4月分）について

4月の入退会について委員会では全員承認であった旨報告し、一同検討の結果、承認した。なお、入会申請時に所属情報がない申請者には事務局から所属の登録依頼をする。

⑨. 第20回脊椎脊髄外科専門医試験結果について

4月のJSSR 学術集会中に開催された第20回脊椎脊髄外科専門医試験の結果について以下のような報告があった。受験者人数：131名、合格者数：129名、不合格者数：2名。一同検討の結果、合否結果について承認した。

2. 審議・報告事項

①. データベース委員会報告

JSSR-DB 2022年度はすでに約15万件で固定され公開されており、2023年度は2024年5月8日現在(登録日ベース)で、登録数は162,730件となっていて、最終日までに170,000件の登録数となる見込みであるとの報告があった。また、JSSRデータベースの機能搭載、委員会活動予定が報告された。

中村理事長から、新たに立ち上げた脊椎内視鏡検討委員会や専門医制度委員会等関連する委員会と連携しながら進めてほしいとの発言があった。

②. 新技術評価検証委員会報告

1) LIF後発品について、安全性を評価する実施施設を選考している。決定次第企業から各施設に打診をしていく。

2) QTアクセスカテーテルの添付文書が改訂されたため、TSCPの適正使用指針をNSJ、日本ペインクリニック学会、PMDAと合同で作成予定である。

3) モルヒネ髄注ポンプについて、JOA、日本定位・機能神経外科学会、日本ペインクリニック学会と合同で適正使用指針を作成予定である。

中村理事長から、適正使用指針の作成では、複数の関連学会が連携する場合には調整が難しくなるため、慎重に進

めてほしいとの発言があった。

③. 学術集会プログラム等検討委員会報告

協賛セミナーの名称では一部の海外資本企業から協力が難しいという申し出があったので、共催セミナーとして募集を諮るが、収益事業とみなされないように会場を明記せずに目標人数を表記する等対策をする。また、非会員の参加は課税対象となることから、消費税を加算した22,000円を参加費とすることが報告された。

④. 関連学会連携促進委員会報告

SWJ学術集会の協賛セミナーはJSSRと同様の方針とすること、学術集会のための準備金は負担しないこと、2027年の会場および日程(2027年10月6日～9日：札幌コンベンションセンター)が決定したことが報告された。

⑤. 第53回学術集会報告

第53回学術集会会長から、学術集会開催報告があり、関係者へ感謝の意が述べられた。

⑥. Spine Across the Sea (SAS)について

第30回SAS会長から、2024年7月28日から8月1日にハワイ・カウアイ島で開催されるSASについて説明し、円高による日本からの参加者の旅費等も鑑みて配慮がされていることから参加しやすくなっており、理事各位へぜひ多くの参加をしてほしいと依頼があった。

⑦. その他

次回の理事会開催日：6月17日（月）14：00-16：00 Zoomにて

以上

令和6年5月23日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村雅也

監事 岩崎幹季

監事 前田 健